

## ディスコグラフィー掲載

### ディスコグラフィー【2016No.41】(HP 掲載)

分類：CD

作曲家：ヨハン・セバスチャン・バッハ

曲名：Sonata in E-Flat Major, BWV 525: Allegro 他

演奏：ロレンツォ・ギエルミ

発売：Passacaille

No. : 967

概要：



ロレンツォ・ギエルミの演奏会に行かれた方からいただいた CD で収録曲は以下のとおりです。

- 1 Sonata in E-Flat Major, BWV 525: Allegro
- 2 Sonata in E-Flat Major, BWV 525: Adagio
- 3 Sonata in E-Flat Major, BWV 525: Allegro (2)
- 4 Sonata in C Minor, BWV 526: Vivace
- 5 Sonata in C Minor, BWV 526: Largo
- 6 Sonata in C Minor, BWV 526: Allegro (3)
- 7 Sonata in D Minor, BWV 527: Andante
- 8 Sonata in D Minor, BWV 527: Adagio e dolce
- 9 Sonata in D Minor, BWV 527: Vivace (2)
- 10 Sonata in E Minor, BWV 528: Adagio, vivace

- 11 Sonata in E Minor, BWV 528: Andante
- 12 Sonata in E Minor, BWV 528: Un poco allegro
- 13 Sonata in C Major, BWV 529: Allegro (4)
- 14 Sonata in C Major, BWV 529: Largo (2)
- 15 Sonata in C Major, BWV 529: Allegro (5)
- 16 Sonata in G Major, BWV 530: Vivace (3)
- 17 Sonata in G Major, BWV 530: Lento
- 18 Sonata in G Major, BWV 530: Allegro (6)

さらに2月に東京芸術劇場で行われたオルガン演奏会の録画が3月30日BS103で放送されましたので併せて聴いてみました。ギエルミは聖シンプリチャーノのオルガン奏者を務めながら、オルガンのマスタークラスを受け持ったり、古楽グループのラ・ディビナ・アルモニアを主宰しています。

CDの方は2010年の4月から6月にわたって、イタリアミラノの聖シンプリチャーノ教会で録音されたものです。CDはPlextor Premium 2Uで再生し、HQPlayerで11.2MHz DSDに変換してmicro iDSD経由で試聴しました。

ギエルミはBS放送では、ラ・ディビナ・アルモニアの演奏会でのポジティブオルガンやチェンバロを受け持った演奏はお馴染みですが、パイプオルガンの演奏は初めて聴くものです。

再生系のPCとES-OT4の電源にiPurifier DCを加え、DA-3000、プリアンプ、フェーダーの空き端子にRCAショートピンを挿してから初めてのPlextor Premium 2UによるCD再生なので、以前とは印象が変わっており、聖シンプリチャーノ教会の豊かな残響音に包まれて中高域は極めて艶やかな音がします。ギエルミの演奏は端正でありながら豊かな情感も表現してくれています。東京芸術劇場の演奏も多目的ホールで多くの聴衆を前にした演奏でありながら、しっとりと聴かせてくれる録画です。

残念なことはCDもBS録画もオルガンの最低域はFALのスピーカーの限界を超えており、別途JBL4350Aで聴きなおいする必要があります。